

低山③ (三ツ峠山)

平成29年3月5日(日)



富士吉田に近づくと正面に富士山が現れる。快晴の青空に雪をまとった姿が美しい。河口湖大橋を渡り、旧御坂トンネルへ向かう旧道に入る。所々路面が凍結している。トンネル入り口の天下茶屋に到着。ここからは河口湖越の富士が望める。ここ

ドドド〜んと富士山 天下茶屋から

本年度最後の山行は、富士山の展望台として有名な三ツ峠山である。本来は二月の予定であったが悪天で「せっかく出かけ行って富士山の眺望がないのは残念」ということで一ヶ月延期されていた。参加者9名、2台の車に分乗し、予定通り4時半に野崎を出発する。東北道、圏央道を通り、中央道の談合坂SAで朝食休憩を摂る。



裏登山口 トイレにビックリ



軽アイゼン装着

始める。車回送組は河口湖湖畔へ回送し、裏登山口で合流する。で身支度をして歩き

9時に登山開始。この登山道は山頂直下の山荘まで続く林道である。ずっと雪道が続いているのでクランポンを装着、沢沿いから尾根に上がると樹林の間から南アルプスの真っ白な山並みが望める。1時間半で山荘に到着、そのまま三ツ峠山(開運山)に向かう。

山なのになぜ峠と呼ばれるのか?この辺りでは尖峰の事をドッケと言いいこれに峠を当てたようです。イタリアアルプスでは三つの尖峰のドライチンネ(剣岳のチンネはこれに似ているので命名され



黒岳の向こうに南アルプスの山並み!

でも寒くならない。
 いよいよ富士を正面に見ながら長い下りに、ちよっと下って平になり、またちよっと下って平にを繰り返し、雪が消えたところでクランポンを外す。中間地点の送電線鉄塔で小休止、空が白くなってきて富士山の



た)がある。なにか面白い。
 山頂では一ヶ月待ったご褒美のような、大パノラマだ。正面には左右対称の均整の取れた富士山、西側には南アルプス連峰が真っ白に横たわっている。去年の夏の北岳、間ノ岳も指呼できる。山頂での大展望を満喫して木無山へ。ここで昼食休憩。無風快晴でゆっくり休ん



- とき 平成29年3月5日
- ところ 三つ峠山 (山梨県)
- てんき 晴れ
- おあし 6,800 円
- あし 伊藤・海津車
- おあじ 持ち寄り

No	参加者氏名
1	伊藤 (CL)
2	伊藤
3	植竹 (SL)
4	薄井 (撮影)
5	大野
6	海津 (報告)
7	齊藤 (会計)
8	佐藤 (記録)
9	鴛巢

雪とコントラストが無くなり目立たなくなってくる。
 かなりのいいペースで歩き、最後の天上山に登る。きつい。
 ロープウエーの富士見台駅まで下りてくるとたくさんの人々。それもほとんどが外国人観光客。1台待ちでロープウエーに乗り、河口湖湖畔に降り立つ。皆は歩いて温泉へ。車回送組は、登山口まで回送して温泉で合流する。帰路、小仏トンネルの渋滞があり、1時間近くロス、佐野SAで夕食と会計を済まして野崎に帰着。
 私、個人としては45年ぶりの三つ峠で感無量でした。皆様ありがとうございました。(海津 記)



会員はゆとりの表情でした



もうすぐで頂上です



カチカチ山では韓国人に撮ってもらいました。韓国には無い文化のようです



逃げようとしなない岩ヒバリ



19-3

トンネルを抜けると 富士山!!!

○コースタイム

野 崎＝羽生（トイレ）＝談合坂（朝食）＝天下茶屋＝三つ峠登山口

4:30 5:30 6:35~7:00 8:00~8:15 8:45~9:00

三つ峠山 一木無山（昼食）一木無山分岐＝鉄塔＝天上山

10:40~11:00 11:15~11:45 12:20 13:00 14:05

ロープウェイ富士見台駅＝ロープウェイ河口湖駅＝開運の湯 野 崎

14:15 14:35 15:15~16:00 19:55

会計報告

(会計 斎藤)

収入の部

会費 ￥6,800 x 9 = ￥61,200-

支出の部

高速代 ￥5,000 x 2 x 2 = ￥20,000-

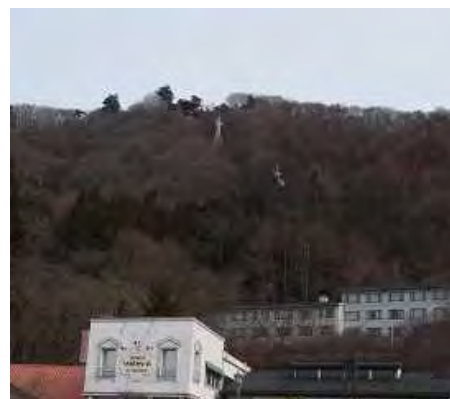
ロープウェー ￥450 x 9 = ￥4,050-

入浴代 ￥9,300-

地図コピー ￥800

車代 ￥13,525 x 2 = ￥27,050-

合計 ￥61,200



カチカチ山のロープウェイに乗ってきました

